

## 5 故障診断方法と処置

### 故障・異常の見分け方と処置方法

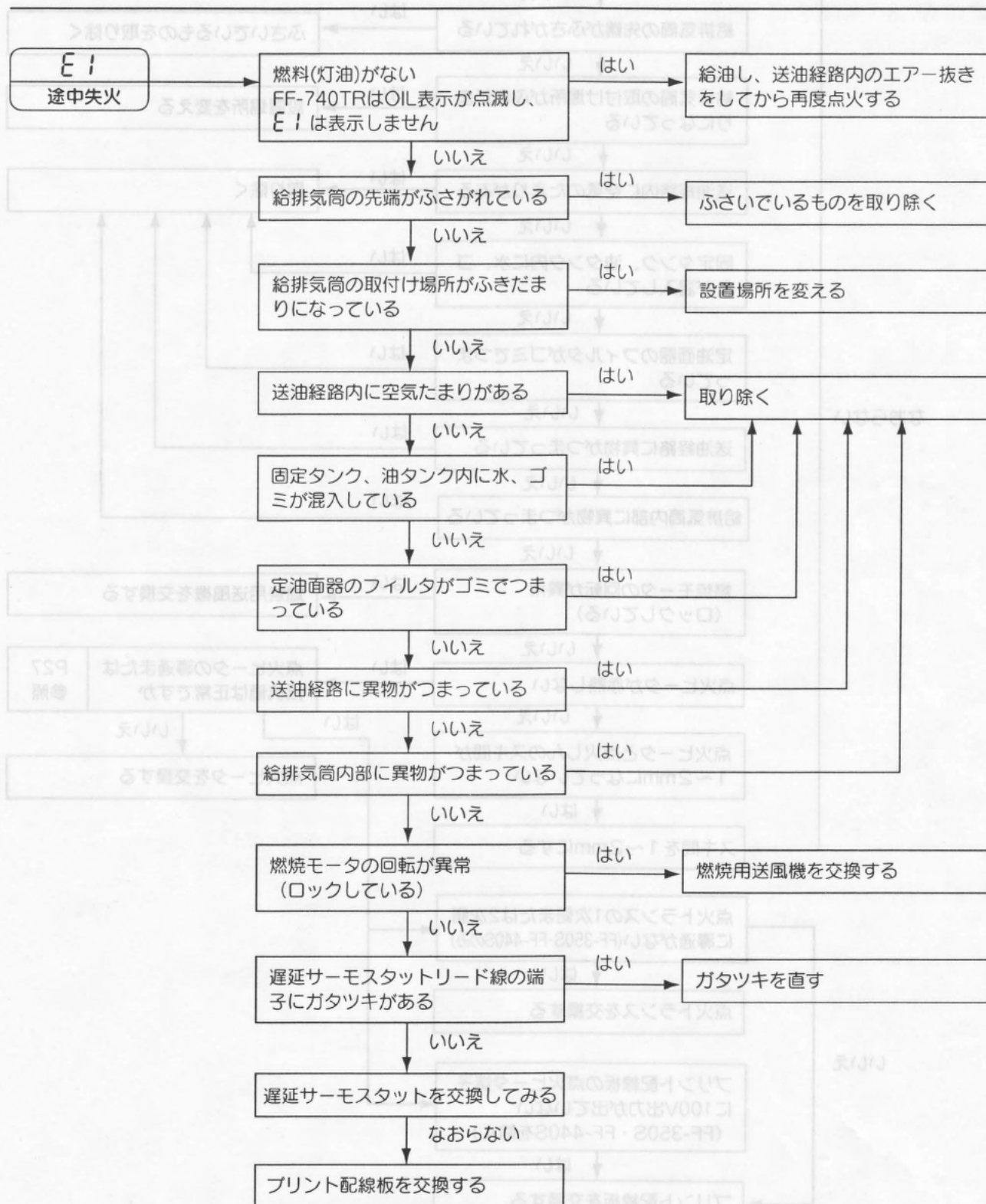
故障または、異常と判断する前に次の項目を点検し、再度点火操作をしてください。  
それでも直らない場合は、「故障診断方法と処置」の項目(20ページ参照)にしたがって点検をおこなってください。

■FF-350S・FF-440S・FF-580SBT・FF-740S・FF-740SBT・FF-740TR・FF-1010S・FF-1010SBT・FF-1100SBT

モニター表示	表示内容	点検項目
E1	●途中で失火した	●油タンク・給油タンクに灯油が入っていますか？ ●油タンクの送油バルブは開いていますか？ ●固定タンク・油タンク内に水やゴミがたまっていますか？ ●給排気筒の先端がふさがれていたり、内部に異物がつまったりしていませんか？
E2	●着火しない	
E3	●対震自動消火装置が作動した	●ストーブにぶつかったり、強い衝撃を与えませんでしたか？ ●ストーブがグラグラしませんか？（水平に設置されていますか？）
表示部 全消灯	●過熱防止装置が作動した （安全サーモスタット）	●温風吹出口がふさがれていたり、ストーブの前に障害物が置かれていませんか？ ●温風空気取入口・ファンフィルタがカーテンなどでふさがれていませんか？また、温風空気取入口・ファンフィルタに多量のゴミやホコリが付着していませんか？
	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
E5	●排気管抜け検知装置が作動した	●排気管または、排気管の接続箇所、はずれているところはありませんか？ ●排気管抜け検知用リード線(灰色)がはずれていたり、断線していませんか？
EE	●停電があった	●停電しませんでしたか？
EC	●室温異常上昇装置が作動した	●部屋の温度が異常に上昇していませんか？ ●ルームサーミスタの抵抗値は正しいですか？（27ページ参照）

■FF-350S・FF-440S・FF-580SBT・FF-740S・FF-740SBT・FF-740TR・FF-1010S・FF-1010SBT・FF-1100SBT

モニター表示 表示内容	故障診断方法と処置	参照ページ
----------------	-----------	-------



※燃料切れ以外の原因の場合は、ポットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。  
必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。



—21—

E3

対震自動消火装置作動

ストーブに衝撃を与えた

はい

再度点火操作をする

いいえ

ストーブが水平に設置されていない

はい

水平に据付ける

いいえ

対震自動消火装置の導通がない(水平時)

P27  
参照

はい

対震自動消火装置を交換する

いいえ

プリント配線板の対震自動消火装置端子を短絡してもE3を表示しますか

はい

プリント配線板を交換する

全消灯

過熱防止装置作動

ストーブ周囲の離隔距離は正しいですか

いいえ

正しく据付ける

はい

温風吹出口がふさがれている

はい

ふさがれているものを取り除く

いいえ

温風空気取入口やファンフィルタがカーテンなどでふさがれている

はい

ふさがれているものを取り除く

いいえ

温風空気取入口、ファンフィルタ、対流ファンに多量の水コリが付着している

はい

水コリを取り除く

いいえ

ストーブ内部に多量の水コリが付着している

はい

水コリを取り除く

いいえ

安全サーモスタットの導通はありますか(常温時)

P27  
参照

いいえ

安全サーモスタットを交換する

はい

プリント配線板の安全サーモスタット端子をテスト的に短絡しても全消灯しますか

いいえ

安全サーモスタットを交換する

はい

プリント配線板を交換する

E5

排気管抜け検知装置作動

排気管抜け検知用リード線が正しく施工されていない

はい

ストーブ背面にある排気管抜け検知用リード線を給排気筒に正しく取り付ける

いいえ

排気管抜け検知用リード線が断線している(リード線の両端で導通をみる)

はい

排気管抜け検知用リード線を補修または交換する

いいえ

排気管の接続部が正しく接続されていない(目視・触手確認)

はい

排気管を正しく接続する

いいえ

排気管抜け検知用リードを本体に短絡してもE5を表示する

はい

プリント配線板を交換する

いいえ



